

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成31年4月11日(2019.4.11)

【公開番号】特開2017-86751(P2017-86751A)

【公開日】平成29年5月25日(2017.5.25)

【年通号数】公開・登録公報2017-019

【出願番号】特願2015-223924(P2015-223924)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成31年2月28日(2019.2.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

可変表示を行い、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、  
 未だ開始していない可変表示に関する情報を保留記憶として記憶する保留記憶手段と、  
 前記保留記憶手段に記憶されている保留記憶に対応して保留表示を表示するとともに、  
 前記有利状態に制御される可能性に応じて段階的に保留表示の表示態様を変化可能な保留  
 制御手段と、を備え、  
 前記保留制御手段は、  
 保留表示のパターンとして、第 1 状態では第 1 表示パターンにて保留表示を表示し、前  
 記第 1 状態とは異なる第 2 状態では前記第 1 表示パターンとは異なる第 2 表示パターンに  
 て保留表示を表示するとともに、前記第 1 表示パターンと前記第 2 表示パターンとで同一  
 段階の保留表示を表示する場合には共通の報知音を出力可能であり、  
報知音の出力を伴う保留表示を同一期間に複数表示可能である、  
 ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 8】

(1) 上記目的を達成するため、本発明に係る遊技機は、

可変表示を行い、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、  
 未だ開始していない可変表示に関する情報を保留記憶として記憶する保留記憶手段（例  
 えば特図保留記憶部など）と、  
 前記保留記憶手段に記憶されている保留記憶に対応して保留表示を表示するとともに、  
 前記有利状態に制御される可能性に応じて段階的に保留表示の表示態様を変化可能な保留  
 制御手段（例えばステップ S 5 1 3 の処理を実行する演出制御用 C P U 1 2 0 など）と、  
 を備え、

前記保留制御手段は、

保留表示のパターンとして、第 1 状態（背景の種類が「背景 A」であるなど）では第 1

表示パターンにて保留表示を表示し、前記第 1 状態とは異なる第 2 状態（背景の種類が「背景 B」など）では前記第 1 表示パターンとは異なる第 2 表示パターンにて保留表示を表示するとともに、前記第 1 表示パターンと前記第 2 表示パターンとで同一段階の保留表示を表示する場合には共通の報知音を出力可能であり（例えば図 20 に示す表示態様および出力音にしたがって表示および出力する演出制御用 CPU 120 など）、

報知音の出力を伴う保留表示を同一期間に複数表示可能である、  
ことを特徴とする。